

事務事業名	バイオマス関連整備事業	所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課	
総合計画体系	政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	林業グループ	
	施策名	<35>林業の振興		担当者名	山本章平	
	目的: 対 象	市内の森林	意 図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。	電話番号	0854-40-1050 (内線) 2412
	基本事業名	<103>森林資源の活用		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 2 林業振興事業 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 5 1 0 バイオマス関連整備事業	
目的: 対 象	市内の森林	意 図	資源として活用する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H23 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市内公共施設にチップボイラーを整備し、化石燃料(灯油等)利用から再生可能エネルギーである木質バイオマス由来燃料(チップ)利用に転換する。 チップの原料として市内森林の林地残材を利用することにより、エネルギーの地域内循環を進めるとともに、新たな林業需要の創出、森林整備や適正管理の推進を図る。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) ・飯石ストックヤード整備にかかわる用地取得、造成工事 ・飯石ストックヤード整備事業 事務・倉庫棟建設、貯木場舗装、トラックスケール整備等	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) ・飯石ストックヤード整備にかかわる舗装工事、事務所棟・倉庫棟建築、トラックスケール整備ほか ・指定管理者の選定 ・利用計画の策定と推進				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 市民参加型収集運搬登録者	人	335	348	387	400
	イ 市民参加型収集材積	t	1,099	954	885	1,200
	ウ 木質チップボイラー数	箇所	6	6	6	6
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	雲南市内の森林	ア 雲南市森林面積	ha	43,532	43,530	43,529	43,529
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)	
木材生産量が増加	ア 木材生産量	m <sup>3</sup>	30,403	21,784	9,990	20,000	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
事業費	① 飯石ストックヤード舗装工事 事業費: 33,440千円	国庫支出金	千円			
	② 飯石ストックヤード事務・倉庫棟建築工事 事業費: 15,260千円	県支出金	千円			52,532
	③ 飯石ストックヤード事務・倉庫棟設備工事 事業費: 5,940千円	地方債	千円	19,300	91,500	122,100
	④ 飯石ストックヤードトラックスケール設置工事 事業費: 3,960千円	その他	千円			3,000
	⑤ 飯石ストックヤード造成工事(R元繰) 事業費: 70,023千円	一般財源	千円	1,100	4,861	3,523
事業費計: 128,623千円 起債: 合併特例債	事業費計(A)	千円	20,400	96,361	128,623	115,082
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	300	400	500	
	人件費計(B)	千円	1,300	1,696	2,104	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	21,700	98,057	130,727	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
チップボイラー稼働施設増加にともなうチップ需要を考慮した原木の安定確保、伐期を迎えた市産木材の流通、利用促進のため、中間土場機能を備えたストックヤード整備が必要となった。	チップ需要増を踏まえた安定供給サイクルの確立に向けた条件整備(ストックヤード整備、チップ供給単価見直し等)を進めている。	未利用間伐材の利活用を通じて森林の整備がより適正に行われるようにするとともに、木材利用量が増加して林業振興を通じた地域経済の活性化を図ることが求められている。

### 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	<b>① 政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	<b>② 公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    *余地がある場合⇒	
	<b>③ 対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    *余地がある場合⇒	
B 有効性	<b>④ 成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない    理由	エネルギーの地域内循環を拡大し、化石燃料から再生可能エネルギー利用への転換を進めるうえで効果の高い公共施設や機器を選定し、整備・導入を行っている。
	<b>⑤ 廃止・休止の成果への影響</b> この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有    理由	市においては、7つの公共施設にチップボイラーを導入し、木質バイオマス利用によるエネルギーの地域内循環を進めることとしている。再生可能エネルギーによる循環型社会の構築のために継続していく必要がある。
	<b>⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある    *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない    理由	類似事業はない。
C 効率性	<b>⑦ 事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	施設規模等に応じた事業費を計上しており、これ以上の削減余地はない。
	<b>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	適切で計画的な事業実施に努めているため削減は出来ない。
D 公平性	<b>⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である    理由	市内全域の森林を対象として実施しており公平である。
評価 の 総 括	<b>① 1次評価者としての評価結果</b> A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<b>② 1次評価結果の総括(根拠と理由)</b> 7施設でのチップボイラー稼働を踏まえた計画的なチップ用原木ストックと市産木材流通拡大のため、吉田町吉田地内へのストックヤード整備のための造成及び建設工事等を行った。

### 3 今後の方向性【PLAN】

<b>① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<b>② 改革・改善による期待成果</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
・市においては、7つの公共施設にチップボイラーを導入し、エネルギーの地産地消、再生可能エネルギーの利用拡大を図る方針。それ以降の導入については、7施設における運用を勧奨したうえで検討することとしているが、当面はチップ安定供給にかかわる基盤整備等を行う必要がある。																						